



カケハシ・プロジェクト（カナダ） カナダ大学生派遣の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

本プログラムは、日本全国から選抜された大学生・大学院生を、日加に対する理解促進を目的としてカナダ・オンタリオ州へ派遣しました。カナダ滞在中はカナダの学生や、学校関係者、政府関係、過去のカケハシ・プログラム招へい参加者との交流を通じて、現地生活や習慣に触れるとともに、交流先で出会う人々に向けて日本の魅力を伝えました。

【参加者】日本の大学生及び大学院生 合計 4 名

【訪問地】カナダ・オンタリオ州トロント

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

2 月 17 日（水曜日） 【渡航前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

■ 派遣プログラム：

3 月 2 日（日曜日） 成田国際空港より出国、トロント・ピアソン国際空港より入国
【オリエンテーション】

3 月 3 日（月曜日） 【学校交流】 Bishop Strachan School
【講義】国際関係省

【文化体験】カーリング
【視察】イートンセンター（ショッピングセンター）
3 月 4 日（火曜日） 【表敬訪問】国際交流基金 トロント日本文化センター

【視察】MaRS Discovery District
【視察】オンタリオ州議会
【表敬訪問】オンタリオ州副総監 エディス・デュモン 氏
【学校交流】トロント大学ムンクススクール

3 月 5 日（水曜日） 【視察】トロント市庁舎
【表敬訪問】トロント副市長 アウスマ・マリク 氏
【表敬訪問】カナダ日系文化会館
【視察】アガ・カーンミュージアム
【交流】

在トロント日本国総領事館にて JET プログラム^{（注）} 帰国者レセプション

（注）JET プログラム：「語学指導等を行う外国青年招致事業」（The Japan Exchange and Teaching Programme）の略称

- 3月6日（木曜日） 【視察】ナイアガラの滝
 【視察】ナイアガラ・オン・ザ・レイク
 【視察】チャイナタウン、ミュージアム地区 等
 【交流】カケハシ同窓生との交流会
- 3月7日（金曜日） 【ワークショップ】プログラムの学びや気づきのとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成
 【視察】ロイヤル・オンタリオ博物館
 【視察】アネックス地域
 【視察】トロント先住民センター
 【視察】クイーンズストリートウエスト地区
- 3月8日（土曜日） トロント・ピアソン国際空港を出発
- 3月9日（日曜日） 成田国際空港に到着
- 3月10日（月曜日） 【報告会】（プログラムの学びや気づきのまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

2. 記録写真

派遣プログラム



2025年3月3日【学校交流】Bishop Strachan School



2025年3月3日【文化体験】カーリング



2025年3月4日【視察】MaRS Discovery District



2025年3月4日【表敬訪問】オンタリオ州副総監 エディス・デュモン氏

	
2025 年 3 月 5 日【視察】トロント市庁舎	2025 年 3 月 5 日【交流】在トロント日本国総領事館にて JET 帰国者レセプション
	
2025 年 3 月 6 日【視察】ナイアガラの滝	2025 年 3 月 6 日【交流】カケハシ同窓生との交流会
	
2025 年 3 月 10 日【報告会】	2025 年 3 月 10 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想

◆ 大学院生

Mars Discovery District というイノベーションハブでスタートアップの支援をする施設や同施設でのスタートアップの活動について知ることができて良かったです。

◆ 大学生

カナダのカケハシ・プロジェクトの同窓生との交流や、多くのカナダの方々との関わりの機会があったことが最も印象に残っています。様々なカナダの文化について学ぶことができました。

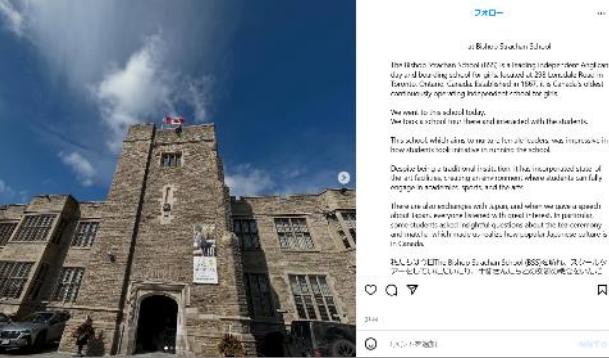
◆ 大学生

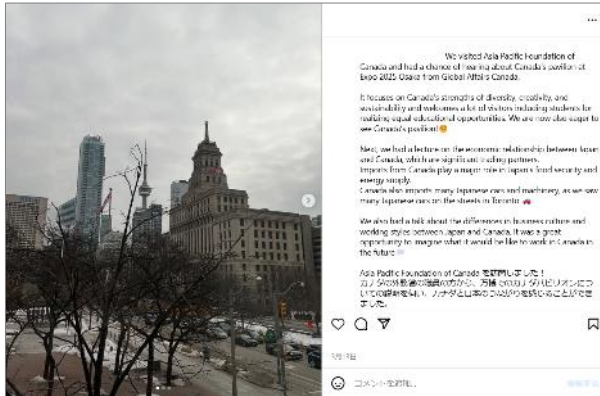
様々なカナダの学生と会う機会があったことが良かったです。Bishop Strachan School や、トロント大学の学生、カケハシの同窓生などの方と会えて嬉しかったです。

◆ 大学生

一番印象に残っているのは、多くのカナダの学生と交流できたことです。カケハシ同窓生や JET 参加者との交流を通して、日本とカナダの文化や生活の違いについて知ることができました。

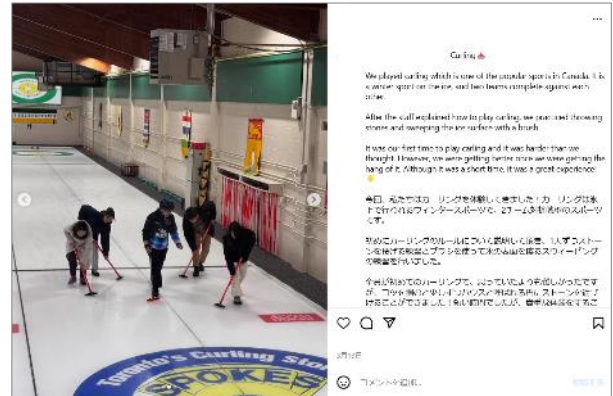
4. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2025 年 3 月 1 日（Instagram） こんにちは！ 私たちは 3/2~3/9 までカナダに滞在し対日理解促進交流プログラムに参加します！ このアカウントで現地の様子や気づきを発信していきます。 渡航前に、参加者 4 人の声を聞いてみましょう！ ◆いよいよ、カナダ渡航が近づいてきました！私自身、初めてのカナダ渡航ですが、現地の文化や歴史、自然などから沢山の事を学びたいと思います。 ◆ついにカナダ派遣が目前となり、渡航する実感が湧いてきました！ カナダでの一つ一つの出会いを大切にしながら、たくさんのことを吸収したいです！ ◆観光ではおよそ訪問できないような場所で色々な方々と交流できるのがとても楽しみです！ トロントに行くのは 10 年ぶりですが、当時の感覚を思い出しながらもさらに新たなものを得られたらと思います ◆初めてのカナダ渡航にワクワクとドキドキが止まりません！！この貴重な機会を有意義なものに出来るよう、カナダで過ごす時間を大切により多くのことを学びたいです。カナダで得た発見も共有していけたらと思います！お楽しみに。	2025 年 3 月 4 日（Instagram） 私たちは今日 The Bishop Strachan School (BSS) を訪れ、スクールツアーをしていただいたほか、生徒さんたちとの交流の機会をいただきました。女性リーダーの育成を目指すこの学校では、生徒が主体性を持って学校を運営していく様子が印象的でした。伝統的な学校でありながらも、新鋭的な設備の導入が進んでいて、勉強やスポーツ、芸術に向き合いやすい環境が整えられていました。日本との交流もあり、私たちが日本に関するスピーチをしたときも、全員が興味深く聞いてくれました。中でも、茶道や抹茶について、興味深い質問もしてくださったので、カナダでの日本文化の人気の高さも実感しました！



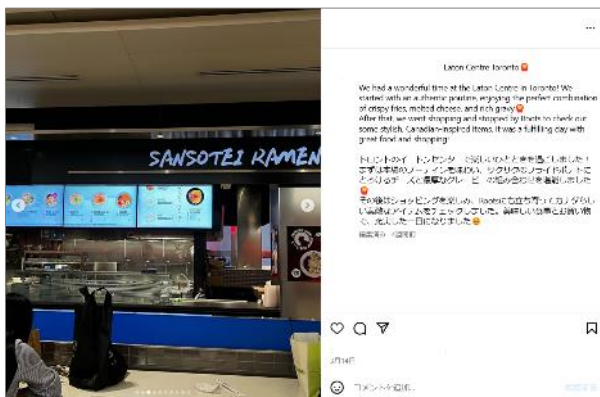
2025 年 3 月 13 日 (Instagram)

カナダ外務省の職員の方から、万博のカナダパピリオンについての説明を伺い、カナダと日本のつながりを感じることができました。カナダパピリオンでは、カナダの強みである多様性・創造性・持続可能性をテーマにしているそうで、ぜひ万博でそれらがどう展示されているのかを見てみたいと感じました。次に、日本とカナダの経済関係についてのレクチャーをして頂きました。日本とカナダは、非常に重要な貿易パートナーです。カナダからの輸入は、日本の食料安全保障やエネルギー供給に大きな役割を果たしています。また、カナダも日本の自動車や機械を多く輸入しており、街で日本車を多く見かけました！日本とカナダのビジネスカルチャーの違いや働き方の違いなどについても、両国で働かれたご経験を踏まえてお話し下さいました。カナダで働いたらこのような感じなのかと想像を膨らませる時間になりました。



2025 年 3 月 13 日 (Instagram)

カーリングを体験してきました！カーリングは氷上で行われるウィンタースポーツで、2チーム対抗戦型のスポーツです。初めにカーリングのルールについて説明していただき、1人ずつストーンを投げる練習とブラシを使って氷の表面を擦るスウィーピングの練習を行いました。全員が初めてのカーリング体験で、思っていたよりも難しかったです。コツを掴むと少しずつハウスと呼ばれる円にストーンを近づけることができました！短い時間でしたが、貴重な体験をすることができました！



2025 年 3 月 14 日 (Instagram)

トロントのイートンセンターで楽しいひとときを過ごしました！まずは本場のプーティンを味わい、サクサクのフライドポテトにとろけるチーズと濃厚なグレービーの組み合わせを堪能しました。その後はショッピングを楽しみ、Rootsにも立ち寄ってカナダらしい素敵なアイテムをチェックしました。美味しい食事とお買い物で、充実した一日になりました。

5. 報告会での訪米成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表



【学び】

◆ 政治・経済：

- ・ 日加は政治経済の面で重要なパートナーであり、「自由で開かれたインド・太平洋」や「国際法の支配」といった価値観を共有しています。
- ・ カナダにとって日本は食料安全保障や資源確保において重要な国であり、日本にとってカナダは自動車税や機械の輸出の面で重要な国です。
- ・ 米国の経済政策が日加の結び付きを強化しており、貿易政策によりカナダでは自国製品の購買意識が高まっています。
- ・ Federal（連邦政府）、Province（州政府）、Local（地方自治体）の役割が、各政府レベルによって決まっており、日本とは異なっています。

◆ 人的交流：

- ・ 日本のアニメや漫画が多くの人にとって日本に関心を持つきっかけとなっていました。
- ・ JET プログラムには多くのカナダ人が参加しており、カナダは日本人の留学先として人気があり、語学学習を通じた交流が見られます。

◆ 多様性：

- ・ 様々な移民によって成り立っているため、その多様性が食文化に反映されています。
- ・ 州ごとに教育制度が異なり、多種多様な学校が存在しています。
- ・ 多様な企業、研究機関、行政が一体となってイノベーションを推進しています。
- ・ スタートアップ企業の各フェーズで適切なサポートを行い、ヘルスケア、クリーンテック^{（注）}、フィンテック^{（注）}、ソフトウェア、AI、自動運転など多岐にわたる分野を支援しています。
- ・ カナダの先住民族文化と日本のアイヌ文化は共通点が多く、文化的交流も盛んに行われている。

クリーンテック：クリーンテクノロジーの略。再生可能エネルギーや省エネ技術などを指す

フィンテック：フィナンシャル（金融）テクノロジーの略。キャッシュレス決済アプリなど IT 技術を使用した金融サービス

【展望】

- ・ 北米政治、国際貿易、米加の経済関係、日加の政治体制や選挙制度、サステナビリティや環境政治、カナダの移民、難民政策を更に深く勉強します。
- ・ カナダへの進出や日系企業の海外進出支援に携わります。
- ・ 女性のエンパワーメント活動やマイノリティの権利発信を実施します。
- ・ 言語学習の継続及び文化背景、多文化主義の理解を促進します。
- ・ 現地で出会った人々との継続的な交流を図ります。

- ・ 持続可能な技術を中心とした研究を行います。
- ・ カナダにおける多様性ゆえのビジネス面での利点や課題を探索します。
- ・ スタートアップ企業の創業や支援活動を行います。
- ・ 日加を繋ぐ環境イノベーションの国際協力に貢献します。
- ・ 英語、フランス語を中心とする言語学習の継続と向上を目指します。
- ・ 国際協力や文化交流を継続します。

【アクション・プラン】

◆ SNS での発信：

- ・ 個人の Instagram
ストーリーズ：カナダでの発見や生活
フィード投稿：カケハシ・プロジェクトの振り返り
- ・ 共同 Instagram
フィード投稿：各訪問地の発信

◆ ブログでの発信：

- ・ Note 等を活用し、カナダのイノベーションハブのユニークさや良さを発信します。日本との違いについても言及します。

◆ 大学での発信：

- ・ 報告会を開催し、カケハシ・プロジェクトでの経験をより多くの大学生に伝え、日本とカナダの相互理解を深めます。
- ・ 日本とカナダの違いや改めて気付いた日本の魅力を共有します。
- ・ 大学教授と相談し、授業でのプレゼンテーションの機会を作ります。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）、カナダ・アジア太平洋財団（APFC）